

Trace Elliot® ELF

200W ベースアンプ



取扱説明書
日本語マニュアル

TRACE ELLIOT AMPLIFICATION

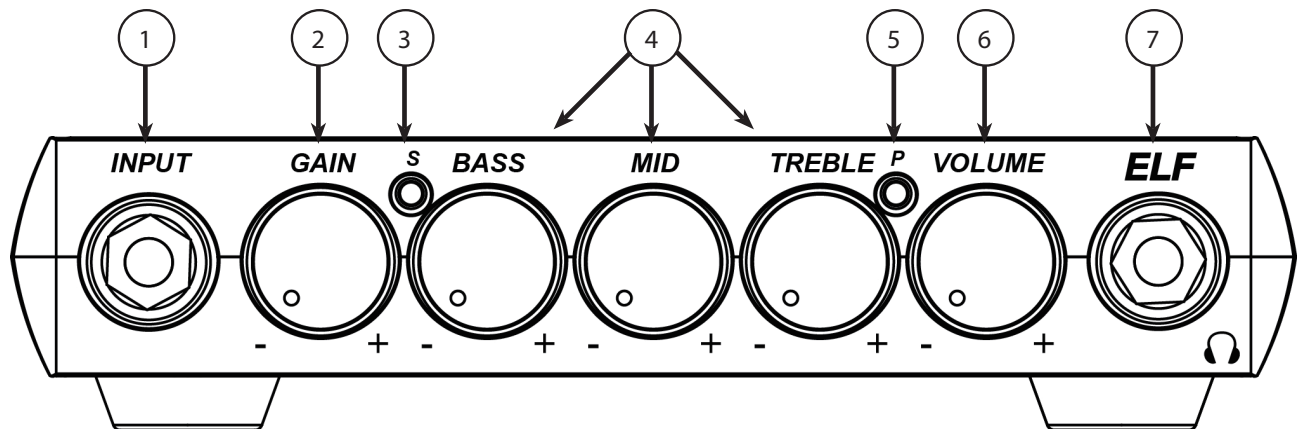
Trace Elliot製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
Trace Elliotの長年に渡る、ベースアンプブランドとしての豊富な経験により、スタジオからライブステージまで、あらゆる場面において、プレイヤーは安心してプロフェッショナルなサウンドを奏でることができます。

このELFは多くのプレイヤーがTrace Elliotのアンプに求める、レンジが広く、輪郭がはっきりとしたサウンドを生み出す超小型の200Wのアンプであり、ポケットにも収まってしまふほどのサイズです。また、このアンプはクリアなトーンだけでなく、ゲインノブを回していくことにより、ナチュラルなドライブサウンドも得ることができます。
Trace Elliotは大型のラウドなアンプを生み出すブランドとして知られていますが、このELFも決してその例外ではありません。

特徴:

- 軽量設計 730g
- 寸法 : W=17.1cm D=10.4cm H=3.4cm
- 定格出力 : 200W(4Ω) / 130W(8Ω)
- インプットレベル・インジケータ搭載のワイドレンジ・ゲインコントロール
- 3バンドEQ(BASS / MID / TREBLE)
※従来のTrace Elliotのアンプに搭載されていたマルチバンドグラフィックEQフィルターを継承
- パッシブ・ピックアップ用 高感度&高入力インピーダンス (>10meg ohms)
- ミキサー又はレコーディング・デバイスへのDI出力(XLRバランスアウト)
※グラウンド・リフト搭載、ポストEQ
- 1/4" (6.35mm) ヘッドフォン出力

注意: 説明書に記載されている注意と警告文を必ずお読み下さい。
これらの警告は、Trace Elliot製品を安全にお使い頂くために、非常に重要です。



(1) インプット・ジャック

ベースからのシールドを入力するジャックです。アンプとベースを接続する間にエフェクターを使用する場合は、最後のエフェクターの出力部分と、このジャックを接続します。
 なお、本機を安全にご使用いただき、演奏中にシールドが抜けてしまうことを避け、良い音で演奏するためにも、シールドは高品質なものをお使いください。

(2) ゲイン・コントロール

アンプのインプット・ゲインを調整します。**このつまみは、サウンドメイキングをする上でとても重要です。**
 このつまみの効き具合は3段階に分かれますが、これは、(3)シグナルLEDの変化によって確認することができます。

(3) シグナルLED

LEDが緑色の時は、アンプに入力された音はコンプレッサー(音のレベルを整える機能)がかからずにプリアンプを通過しています。LEDが赤く点滅し始めた時は、ゲイン・コントロールのつまみを右に回せば回すほど、プリアンプ内でコンプレッサーが強くなります。
 また、コンプレッサーはEQにも対応しているため、EQのつまみを高めに設定することによりコンプレッサーは強くなります。したがってEQを全て高めに設定した状態で、コンプレッサーのかけ具合を弱くするためには、ゲインを低めに設定する必要があります。
 ゲインのつまみを一番右まで回すと、オーバードライブ回路が働き、激しく歪みます。このセッティングで使用される場合は、スピーカーに極端な負荷がかからないように、音量を下げた状態から適正な音量を決めてください。

(4) ベース、ミドル、トレブル EQ

これらのつまみをセンター(0)の位置から時計回りに回すと、ベース(低音域)、ミドル(中音域)、トレブル(高音域)がそれぞれ増幅し、センター(0)の位置から反時計回りに回すと減衰します。
 ベース = 80 Hz / ミドル = 400 Hz / トレブル = 4.2 KHz

(5) 電源インジケータ

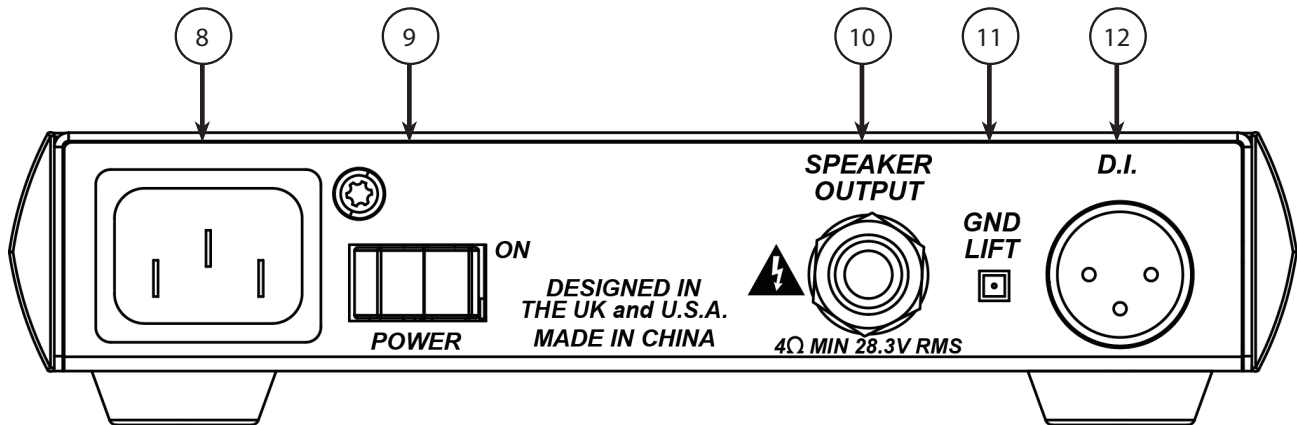
アンプの電源がオンの状態の時、緑色に点滅します。

(6) ボリューム・コントロール

このつまみを回すことにより、アンプから出力される音のレベルを設定します。
 アンプのスイッチを入れる時は、突発的な大音量による事故を防止するために、必ずつまみを一番左の位置に設定してください。
 最大電力を検出するとリミッター回路が働き、過度のクリッピングを防ぎます。

(7) ヘッドフォンジャック

この1/4"ステレオジャックにイヤホンやヘッドフォンを挿すことにより、スピーカーを鳴らさずに使用することができます。
 使用時には、最初にボリュームのつまみを一番左の位置にセットし、聴覚を痛めないよう、ボリュームの設定を行なってください。



(8) AC 電源ソケット

⚡ 本体にAC電源を供給するためのソケットです。電源コードをこのソケットに接続し、電源を本体に供給します。適切な電源コードが使用されていない場合、本機の破損につながる恐れがありますので、必ず付属のケーブルをご使用ください。(リアパネルに記載されている電圧表示をご参照ください。)

⚠ どのような場合でもグラウンドピンは決して取り外さないで下さい。グラウンドピンは安全のために取り付けられています。使用するコンセントにグラウンドピンが無い場合は、変換アダプターを使用しアースコードを正しく接続してください。感電や火災の事故を避けるため、アンプおよび関連する全ての機器が正しくアースに接続されているか必ず確認してください。

(9) オン・オフスイッチ

オンの位置にした時に、本機にAC電源がアンプに供給されます。

(10) スピーカー出力

この1/4"モノラルジャックは、外部スピーカーキャビネットと本機を接続する際に使用します。最小負荷インピーダンスは4Ωです。

⚠ 本機はモノ・ブリッジ出力になります、つまり1/4"スピーカーケーブルのsleeve部分にもアンプの出力が流れます。スピーカーケーブルのプラグのチップやスリーブは、絶対に金属やグラウンドに触れないで下さい。さもなくば、本機やスピーカーの破損に繋がる恐れがあります。そして、必ず高品質なベース用スピーカーを搭載したキャビネットのみを使用して下さい。低品質なスピーカーやギター用スピーカーなど、ベース用として設計されていないスピーカーキャビネットを使用した場合、ELF内の保護回路が過剰な負荷などを検知することがあります。その場合、保護回路により、一時的に音が遮断されます。もし音が途切れた場合、スピーカーに対して何かしらの負荷がかかり過ぎていることになります。その際は、まずボリュームを下げてください。また、もしそれでも音が何度も途切れるようであれば、適切な許容入力を備えた高品質なベースキャビネットに交換してください。

(11) D.I. グランド・リフト・スイッチ

このスイッチを押すと、D.I.アウトから出力するXLRソケットの1番ピンからアースを切り離します。通常、これはアウトポジションのままにしておくべきですが、DIソケットが別の機器と接続した際に、グラウンドループによってハムノイズが発生する場合があります。その場合、このスイッチを押すことによりハムノイズが解消されます。

(12) D.I. アウト(XLR)

ライブやスタジオで本機を使用する際に、ステージ上のマルチボックスやミキサーにダイレクトで音を送るための、低インピーダンスのバランス出力です。これにより、他の機器から音への干渉を受けずに、クリーンな信号を送ることができます。なお、このソケットは下記のように接続されています。1番ピン=グラウンド(アース)、2番ピン=+(ホット)、3番ピン=- (コールド)

注：このD.I. アウト(XLR)は " Post EQ "に設定されています。

仕様

電源電圧:

100-120 vac - 50/60Hz - T3.15AL/250V
230 vac - 50/60Hz - T1.6AL/250V

ノイズフロア = -104.3dBu
ノイズフロア w/sig (ノミナル) = -88dBu

消費電力:

継続 = 30W
最大 = 240W

重量:

730g

スイッチング電源:

過熱保護
過電流保護

寸法 (H×W×D) :

3.4cm×17.1cm×10.4cm

パワーアンプ:

保護:

クリップリミット
熱感知
過電流/漏電
DC出力

最小負荷:

4Ω

パワー出力(1% THD):

130W - 8 Ω
200W - 4 Ω

ノイズ:

-62.5 dBu

プリアンプ:

ノミナル入力感度:

全てのコントロールを12時に設定 = -6.44dBu (369mV)

入力インピーダンス:

>10 meg Ω

EQ:

独自のTEフィルタを備えた3バンドロータリタイプ
Low center = 80 Hz
Mid center = 400 Hz
High center = 4.2 KHz

DI XLR バランス出力:

PIN 1 = GND, PIN 2 = sig+, PIN 3 = sig-
POST EQ
出力インピーダンス 1KΩ
グラウンドリフトスイッチ付き



Ippinkan Corporation
Musical Instruments Division

株式会社 逸品館

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東6-8-20

Tel : 045-633-7530 Fax : 045-633-7531

E-mail : ippinkan.mi@otoiawase.jp

Web : <http://peavey.jp/>